

ハムスターを飼う前に

その2. ケージとフードの準備



♡ 金網ケージとプラスチックケージ

金網でできたケージは通気性がよく、夏期や湿度の高い時期には適しています。冬期は保温性が悪いため、必要に応じて段ボールなどで囲ってあげるとよいでしょう。注意点としては金網をかじることで切歯の異常が起きやすいこと、金網に足をはさんで骨折などのけがをしやすいたことが挙げられます。

プラスチックケージは保温性が高いため、冬期の飼育には適していますが、夏期は高温多湿のため衛生状態が不良となって、皮膚炎や下痢を引き起こすことがあります。環境やハムスターの行動パターンを考えて、ケージを選びましょう。

♡ 回し車、トンネル、隠れ場所のハウス

若い健康なハムスターは特に活動的なため、回し車やトンネルなど安全なおもちゃを与えてあげるとよいでしょう。

ハウスを入れてあげると安心して眠れます。木製のハウスもありますが、洗えるタイプのものが衛生的でよいかもしれません。

♡ 床材は紙製がおすすめ

木製のチップは材質によっては刺激が強く、皮膚疾患やアレルギー疾患の原因になる場合があります。保温性があり、刺激の少ない紙製の床材がおすすめです。

巣材としてわたを入れると繊維が足にからんでけがをすることがあります。



♥ とても大切な給水ビン

給水ビンには新鮮な水を入れ、セットしてから必ず飲み口を手で押して水が出ることを確かめてください。水が飲めないと脱水症状となり、体調を崩してしまいます。水の減りが少ないと感じた時も必ず飲み口の確認をしてください。

♥ トイレはなくても大丈夫

ハムスターはケージのすみに排泄する習性があります。ここにトイレを設置してトイレ用の砂を入れてあげても良いですが、なくてもかまいません。汚れた部分の床材をまめに交換することで衛生的に飼育することができます。

♥ フードはハムスター用ペレットを ヒマワリの種はフードではなく、おやつとしてちょっとだけ。

フードはハムスター用のペレットを与えましょう。硬いフードをかじって食べることで切歯の異常を予防することができます。

ヒマワリの種やクッキーなどを主食のように与えるのは肥満のもとになるため、望ましくありません。1日2～3粒を手渡しであげてください。

